

兵庫勢 春に羽ばたけ

全国高校選抜大会 きょうから集中開催

春の高校日本一を決める全国高校選抜大会は15日から4月7日まで、全国各地で25競技が行われる。兵庫県内では23、24日に伊丹スポーツセンタ

一体育館(伊丹市)でなぎなたを実施。ホッケーを除く競技に出場する兵庫勢。集中開催を前に、初出場校の話題や出場各競技の展望を紹介する。

全国高校選抜大会で初出場初優勝を狙う相生学院の女子選手たち＝加古川市神野町



テニス女子団体

【テニス】団体の男子は相生学院が2年ぶりの王座奪還を狙う。全日本ジュニア選抜室内選手権覇者の竹元佑亮ら層が厚く、近畿大会を圧倒的強さで制した。関学は古豪復活を

目指す。女子の園田は昨年の全国総体3位を経験した西口真央や上唯希が健在で頂点を見据える。初出場の相生学院も県新人大大会で園田と大接戦を演じ、侮れない。

相生学院 初出場Vに照準

創部2年目の初出場にも、気後れはない。テニス女子団体の相生学院が見据えるのは頂点だ。昨夏の全国総体を制した男子の活躍にも刺激を受け、「目標はアベック優勝」と口をそろえる。

通信制とはいえ、14人の部員全員が県内の自宅から毎日通学し、放課後に切磋琢磨せよとたくまを重ねる。昨秋の県新人大大会でシングルス4強を独占したほどの戦力だが、団体戦では名門が君臨する兵庫の荒波にさらされてきた。全国総体優勝6度の園田と、同5度の夙川の壁だ。2011年の県新人大大会では夙川に近畿大会出場を阻まれ、昨秋の同大会では園田に惜敗して初優勝を逃した。

園田との一戦は転機にもなった。橋彩音と栗本麻菜の1年生ペアは、勝負が懸かった第2ダブルスでマッチポイントを握りながら逆転負けした。「重圧で周りが見えなくなった。あれ以来、トライする気持ちを意識し、声を掛け合っている」と栗本。敗戦を糧に、その後は負けなしの勝負強さを発揮している。

敗退のたびに部内の活気は増し、名門校との差を痛感した応援の練習にも余念がない。エース観音堂万友は「団体戦を意識し、一丸になってきた。気持ちのいい練習ができています」と手応えを示す。「相生学院も名門になれるよう頑張りたい」と森歩実主将。伝統の礎となる一歩を踏み出す。

(永見将人)